

# 話<sup>わ</sup>じゃれ (16)

岐久 ようこ

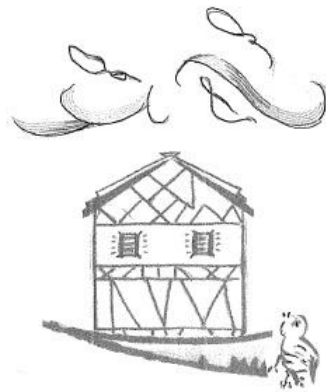
風のイタズラで

停電のブラックアウトみたい  
薄どんよりパツと晴れない  
煙害が広がる赤道付近では

毎年乾季になると野焼きシーズン入り  
インドネシアからの煙はマレーシアの  
上空まで流れ「煙害」に悩まされる隣国  
「まいったなー」

大規模な開墾のほかに  
「日本などへパルプになる木材の輸出」で  
原生林は日々減っている  
ブラジルでも野焼きから山火事になったり  
大変だ！

「地球の肺」であり  
「酸素の20パーセントを出している」という  
アマゾン流域の緑樹が  
ここも年ごとに焼畑農業や牧草地化で減っていく



そんなこんなと関係ないだろうけど  
2019年、千葉県を台風15号が急襲  
アツという間にアットホームの屋根を  
とばしてしまった。その上に大雨が降る  
次の台風19号が迫ってる！  
応急のブルーシートを見た鳥たち  
「風が巻きあげんように」  
「仲間とボランティアしよう」  
「フン落とさないよう」

秋天の 屋根に見慣れぬ ブルーシート  
これなんや 小鳥たちも チュン配だ

淘汰の跡をたどって

ダーウィンが「生物は自然選択によって

環境に適応するように進化する」と発表したころ

日本には明治維新前後の

変化の大波が押し寄せていた

土方歳三もその大波にゆれた一人です

戊辰戦争のとき、官軍に対抗し

蝦夷地で独立政権の樹立を目指したが

その前に、城を二つ攻め落としたのは

彼の功績かしら？

「松前城をめざすぞ！」

函館から海岸沿いに迫って行くと

台地に陣取る城や砲台に

攻撃かけるが今一つ

裏門に回り「三の丸天神坂ご門」へ

城側は門内の大砲を開門と同時に

「バーン」撃つとすぐ閉める

「ドーン バーン」すぐ閉めるを繰り返す

これを見た攻める土方側は

銃師を門前までせばめ

門が開くや一斉射撃

大砲師を狙い撃ち

そのため砲撃は弱まり門を突破したという

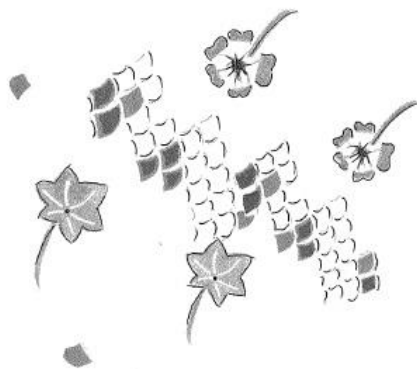
抵抗もここまで

むなしく堕ちた松前城

シレッと極めた物語

三の丸の 裏門悲話は ここまで

ガイド嬢 講談調に 語りかけ



東京オリリンピックはもうすぐ

「ウワー美しい！」

体操のチャフラフスカが観客を魅了していた  
前回の東京五輪の時

母国チエコスロバキアの周りには  
当時ソビエト連邦など

「規制の厳しい社会主義国がありまして」

ワルシャワ条約機構というものですけど  
だがチエコ国民「民主化しよう」と立ち上がった

「やりましょう」彼女もサインした

しかし 全土が占領下におかれ

プラハの街は戦車で押しつぶされた

体制派が彼女にささやく「民主化を撤回しよう

そうすれば輝かしい人生を送れるんですよ」

彼女は首を振ったため

変装してまで稼ぐ暮らしになった

およそ20年という不遇を

「よく乗り越えましたね」いつまで続くか？

1989年12月、「ビロード革命」で反体制派の

ハベル氏が大統領になると

新しい世の中が待っていた

「民主化の象徴として」彼女には

「表舞台に出てくれ！」公職に就いてくれとなり  
国の中枢を担う「大統領補佐官」に就き

懸命になっていたが

息子が別れた夫を殺したというニュース

以後20年を葉陰に身をおき活動した

チャフラフスカ 落下しちゃった 減点や

いやいや やり直します 初めから



アニメにつながって

人気漫画コミック本の映画化は今もなお続きます  
懐かしい「スパイダーマン」

少年が遺伝子操作されたクモに噛まれた後  
スパイダーマンになっていく！

世界征服を企てる怪人2人と摩天楼を舞台に戦う  
もっと以前に「ウルトラセブン」

円谷プロの創始者で「トクサツ」こと

特殊撮影の神様と呼ばれた円谷英二のもとに  
若い才能が結集

「正義の味方が宇宙からやってくる！」

宇宙のかなたにはスゴ腕のウルトラマンがいる  
大きな嘘を真実らしく描いて

「カッコイイ！」と子供らを熱狂させた  
さてパリで一人の男が

エッフェル塔は276メートル  
途中の展望台から鉄骨をよじ登って

どんだん上がっていく

アニメならそこで駆けつけた消防隊に  
身柄を拘束されたりはしない

大空に向かってマジナイの

光を発射しながら消えていき

見知らぬ国で呪い合戦をうけて立つはずですが  
夜になって男が降ろされた

閉ざされていたエッフェル塔は開放

見物客にとつて、とんだハプニング

「よく6時間も鉄塔にしがみついたものだ」

空を跳ぶ スーパーマンに なりたい

マスクつけ あの青年が まさか

